



東邦大学

第 15 回東邦大学医療センター  
大橋医学会  
プログラム



令和 5 年 7 月 20 日 (木曜日)

令和 5 年 7 月 21 日 (金曜日)

東邦大学医療センター大橋病院臨床講堂

主催 東邦大学医療センター大橋病院研修委員会  
主催 東邦大学医療センター大橋医学会  
担当 東邦大学医療センター大橋病院 教育支援管理部

## 第 15 回 東邦大学医療センター大橋医学会プログラム

日時：令和 5 年 7 月 20 日（木曜日）17 時 00 分～19 時 00 分

令和 5 年 7 月 21 日（金曜日）17 時 00 分～19 時 00 分

会場：東邦大学医療センター大橋病院臨床講堂

令和 5 年 7 月 20 日（木）

17:00— 開会

### 17:00—18:15 【一般演題 I】

座長：高橋 啓

1. 術前術後評価および経過観察にエコーが有用であった左椎骨動静脈瘻の 1 例  
A case of left vertebral arteriovenous fistula  
○藤崎 純<sup>1)</sup> 金子南紀子<sup>1)</sup> 佐々木有沙<sup>1)</sup> 来住野雅<sup>1)</sup> 高橋奎太<sup>1)</sup> 長谷川碧海<sup>1)</sup> )  
,藤田 聡<sup>2)</sup> 中山晴雄<sup>2)</sup> 林 盛人<sup>2)</sup> 岩渕 聡<sup>2)</sup> 諸井雅男<sup>3)</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院 臨床生理機能検査部<sup>1)</sup> 脳神経外科<sup>2)</sup> 循環器内科<sup>3)</sup>
2. DOAC(direct oral anticoagulant)内服中に発症した脳出血に対してXa 阻害剤を使用した 1 例  
○塚本匠真<sup>1)</sup> 指導：藤田 聡<sup>2)</sup> 平元 侑<sup>2)</sup> 小屋原優輝<sup>2)</sup> 佐藤 詳<sup>2)</sup> 傳 和真<sup>2)</sup>  
平井 希<sup>2)</sup> 中山晴雄<sup>2)</sup> 林 盛人<sup>2)</sup> 齋藤紀彦<sup>2)</sup> 岩渕 聡<sup>2)</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院 1 年次研修医<sup>1)</sup> 脳神経外科<sup>2)</sup>
3. セフトリアキソン(CTRX)投与に伴い偽胆石を形成した高齢者の 3 例  
○服部陽介<sup>1)</sup> 齋藤倫寛<sup>2)</sup> 齋藤孝太<sup>2)</sup> 枇杷田雅仁<sup>2)</sup> 岩井 哲<sup>2)</sup> 田島慎也<sup>2)</sup> 竹中祐希<sup>2)</sup>  
山田悠人<sup>2)</sup> 日原大輔<sup>2)</sup> 岡本陽祐<sup>2)</sup> 塩澤一恵<sup>2)</sup> 伊藤 謙<sup>2)</sup> 渡邊 学<sup>2)</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院 1 年次研修医<sup>1)</sup> ,消化器内科<sup>2)</sup>
4. 急性期脳梗塞症例に対する CT 灌流画像の有用性  
○藤田 聡、林 盛人、岩渕 聡  
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科
5. 組織型の推定に苦慮した oncocytic change を示す肺カルチノイドの 1 例  
○中村千秋<sup>1)</sup> 松澤優斗<sup>1)</sup> 湯浅瑛介<sup>1)</sup> 佐々木智子<sup>1)</sup> 村石佳重<sup>1)</sup> 浅川奈々絵<sup>2)</sup> 大原関利章<sup>2)</sup>  
横内 幸<sup>2)</sup> 高橋 啓<sup>2)</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院 病院病理部<sup>1)</sup> 病理診断科<sup>2)</sup>

### 18:20—18:50 【総研部報告】

座長：小倉 剛久

1. 川崎病類似血管炎マウスモデル心基部大動脈における Syk 阻害薬の血管炎抑制効果についての検討  
○浅川奈々絵<sup>1)</sup> 大原関利章<sup>1)</sup> 横内 幸<sup>1)</sup> 高橋 啓<sup>1)</sup>  
東邦大学医療センター大橋病院 病院病理診断科<sup>1)</sup>
2. Guillain-Barré 症候群モデルラットに対する抗活性酸素療法  
○紺野晋吾  
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経内科

【一般演題、総研部報告：発表 8 分 質疑 4 分】

令和5年7月21日(金)

**17:00-18:12 【研修医研修報告Ⅰ】**

座長：常喜 信彦

1. 肺小細胞癌を原発巣とする転移性虹彩腫瘍が疑われた1例

○柳原里帆<sup>1)</sup> 指導：飯田莉与<sup>2)</sup> 柿栖康二<sup>2)</sup>

東邦大学医療センター大橋病院 2年次研修医<sup>1)</sup>東邦大学医療センター大森病院 眼科<sup>2)</sup>

**17:15-18:00 【一般演題Ⅱ】**

座長：中山 晴雄

- 1 直腸癌術後の難治性縫合不全に対して Over-The-Scope Clip(OTSC)による瘻孔閉鎖を施行し、成功した1例

○佐藤二郎

東邦大学医療センター大橋病院 外科

- 2 がん悪液質とアナモレリン塩酸塩の使用実態と有効性

○今川貴仁

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部

- 3 下部尿路機能障害を有する壮年男性患者における自己導尿導入期の葛藤に関する研究

○山崎尚子<sup>1)</sup> 小野真由美<sup>1)</sup> 澤田喜友<sup>2)</sup> 関戸哲利<sup>2)</sup>

東邦大学医療センター大橋病院 看護部 外来看護師<sup>1)</sup> 泌尿器科<sup>2)</sup>

- 4 腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(TAPP法)を施行した再発鼠径ヘルニアの1例

○橋本瑤子

東邦大学医療センター大橋病院 外科

**18:00-18:30 【特別講演】**

座長：諸井 雅男

寛解による生物学的製剤治療中止後の関節リウマチ再燃は予測可能か？

○亀田秀人

東邦大学医療センター大橋病院 膠原病リウマチ科

**18:35- 【閉会】**

【研修医研修報告、一般演題、総研部報告：発表8分 質疑4分】